

11月10日刊行  
三島事件  
その心的基層

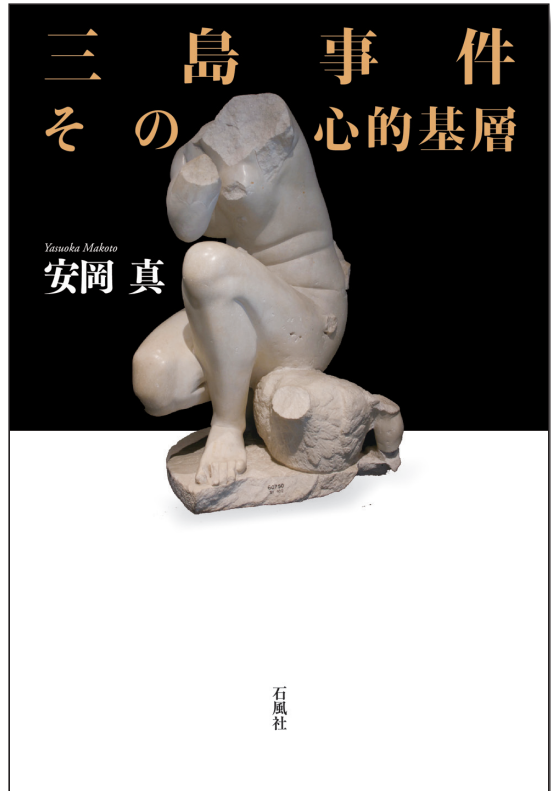
安岡 真 (やすおか・まこと)

2020年11月10日刊 発行所 石風社  
定価: 本体2500円+税 四六判上製333頁  
ISBN978-4-88344-298-0 C0095

三島事件から五十年  
その深層を読み解く

徴兵検査第二乙種合格。二十歳の平岡公威＝三島は、父親の郷里である兵庫で入隊検査を受ける。風邪気味だった三島を若き軍医は肺湿潤と誤診、即刻帰京。三島が入隊すべき聯隊は、その後フィリピンで多くの戦死者を出したと、三島は終生思い込んだ――。本書は三島の〈軍〉への固執の深層を解読する。

彼の残した作品の裡で、  
三島は、  
彼の言う  
「永遠の生」を生きる。  
――それは十分に。  
(あとがきに代えて)



装幀: 毛利一枝  
カバー写真撮影: 安岡真  
ウエヌス・ゲニトリクス(母のヴィーナス)  
ローマ国立博物館(マッシモ宮)所蔵

- 序章 「仮面」の告白
- 第二章 「太陽に乾杯」 三島由紀夫の生の「欲動」
- 第三章 ローマへ――「聖セバスチャン」の  
アイコングラフィー
- 第四章 『金閣寺』の構造分析
- 最終章 『豊饒の海』について

安岡 真 (やすおか・まこと)

翻訳家・文芸評論家。1956年、神奈川県生まれ。法政大学社会学部卒業。トルーマン州立大学大学院社会学研究科社会科教育学課程修了。社会学修士。現在、東京国際大学人間社会学部准教授。専門は比較文学、アメリカ大衆文化論。著書に『中上健次の「ジャズ」』(水声社)、訳書に『無限都市ニューヨーク伝』(文藝春秋)他

\* \* \*

ご注文書 【貴店番線印】	注文	日付	ご担当	ISBN978-4-88344-298-0 C0095
	冊	/	様	<b>三島事件その心的基層</b> 安岡 真 (やすおか・まこと) 定価: 本体2500円+税
	好評既刊	医者は現場でどう考えるか ジェローム・グループマン ( ) A5判上製 313頁 定価2800円+税 978-4-88344-200-3 C0047 美沢恵子 訳 ( ) 冊		
取扱	地方小出版流通センター(日販/トーハン/楽天ブックネットワークス)、桑谷書店、きんぶん図書		石風社	福岡市中央区渡辺通2-3-24ダイレイ第5ビル5階 092(714)4838

【ご注文は石風社 FAX:092 (725) 3440まで】